

夢の実現へリニア中央新幹線 交通政策審議会 国土交通大臣へ答申

「リニア中央新幹線」計画について、シリーズでお伝えしています。

今月は、交通政策審議会（中央新幹線小委員会）から国土交通大臣に行われた答申と今後のスケジュールについてお伝えします。

答申までの審議状況

交通政策審議会での審議は、平成22年2月の国土交通大臣からの諮問に基づき、審議会の下に設置された中央新幹線小委員会（以下小委員会）で集中的に行われてきました。

審議では、技術事項に関する検討やJR東海、沿線都府県、有識者等からのヒアリング、さらには、独自にルート毎の費用対効果や需要予測などの分析も行なわれました。

論点整理を経て昨年12月には、「中間とりまとめ」として小委員会の考え方がまとめられ、パブリックコメントも実施されました。（広報なかつがわ2011年2月号27頁および4月号24頁参照）

また、今年に入り、リニア中間駅に期待される役割として、「駅アクセス圏の拡大」や「魅力ある駅空間の創造」等について、論点ごとの議論が行われ、3月中には答申案がまとめられる予定でしたが、3月11日金に発生した東日本大震災の影響により延期されました。

4月14日（休）の第18回小委員会では、今回の大震災を踏まえた対応の検討がなされ、改めて東海道新幹線のバイパス機能の重要性が示されるとともに構造物の耐震対策も充分で、リニア計画の大幅な修

正は必要ないと結論づけられました。

4月21日（休）の第19回小委員会において答申案が示され、その後、パブリックコメントも実施されました。

答申は、20回におよぶ審議や3回のパブリックコメントを経てまとめられ、5月12日（休）に行われました。

答申の内容

答申は、昨年12月に示された「中間とりまとめ」を基に、さらに審議を重ねてまとめられました。

「中央新幹線整備の意義」や「走行方式」「ルート」「営業主体および建設主体」については、大きな修正はありませんでしたが、東日本大震災を受けて、大動脈である東海道新幹線の二重系統化の重要性がさらに高まった点や地震対策に関する記述が追加されました。

整備計画に記載される事項

建設線	中央新幹線
区間	東京都・大阪市
走行方式	超電導磁気浮上方式
最高設計速度	505km/時
建設に要する費用の概算額（車両費を含む）	90,300億円（利子含まず）
その他必要な事項	主要な経過地 甲府市附近、赤石山脈（南アルプス）中南部、名古屋市附近、奈良市附近

また、全国新幹線鉄道整備法に基づき整備計画に記載される事項についても追記されました。（上記）

さらに、付帯意見として中間とりまとめでは8項目あったものが、答申では、中間駅の整備のあり方などについての記述が修正され、10項目となりました。

また、駅の位置や費用負担等の調整に関して、必要に応じて国が関与するよう求める記述（左記）も加えられました。

文面の最後は、「三大都市圏を直結する中央新幹線の整備は、被災地の復興に直接的には寄与するものではないが、災害に強い国土の形成および我が国の中長期的な経済復興に貢献することが可能な事業である。小委員会として、被災地の復興を心から願うとともに、中央新幹線の整備についても、東日本大震災の教訓を

国の関与についての記述概要

● 駅の位置は、建設主体が案を提示して沿線地域と調整することが適当であるが、国は事業の進行管理の観点から必要と認められる場合は、両者による調整を支援すべき。

● 建設主体は、各駅の具体的な建設費用等を精査し、かつ、沿線自治体が駅周辺の整備を担うことも勘案しながら、駅の建設費用負担について自らの考え方を示すべき。仮に、その考え方は関係者間で合意が得られない場合、合理的な負担のあり方について、その検討への国の関わり方も含めて、調整が行われることが望まれる。

● 各沿線地域の利便性の維持・向上を図るため、国、建設主体および営業主体、沿線自治体並びに沿線交通事業者等による検討の場において、駅アクセス圏の拡大方策を含めて、中央新幹線の整備効果を最大限に波及させる方策を検討すべき。

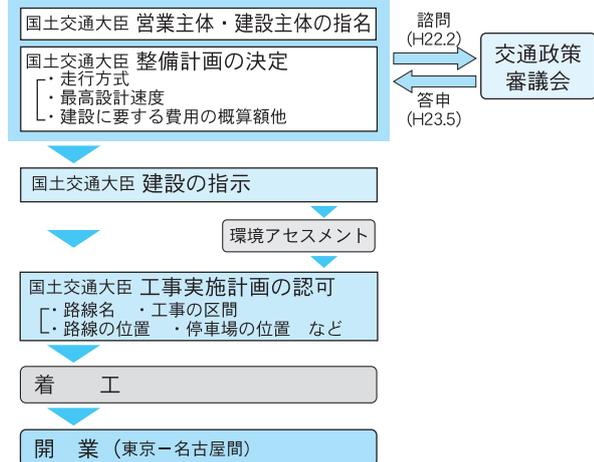
踏まえながら着実に進められ、我が国の経済社会全体の復興の一助となることを切に望む」と結ばれています。

今後のスケジュール

今後、国による営業主体、建設主体の指名、整備計画の決定、建設の指示と進み、年内には、環境影響評価に着手する見込みです。

環境影響評価には2〜3年程度かかると思われ、その後、工事実施計画の認可、着工へと進みます。

工事には最低でも10年程度は必要で、JR東海は、平成39年（2027年）の開業を目指しています。



本頁の内容については、5月16日時点の状況を基に記述しています。また、今後のスケジュールについてもあくまで見込みです。

問 まちづくり課（内線 322）